

添乗レポート
大自然感動体験
南極紀行 16日間

南極チャータークルーズに添乗し、
 実際に行って確かめてきました!

阪急交通社ツアー
 企画担当 田中駿さん

（注）2019年度の南極ツアーは、ボナン社のル・ボレアルを阪急交通社がチャーターしました。

1日目

東京（羽田又は成田空港）から世界の各地を乗り継ぎ、まずはアルゼンチンのブエノスアイレスへ！今晚のホテルは飛行機の中…

2日目

ブエノスアイレスに到着！到着後、ホテルへ。明日はいよいよウシュアイアへ出発！

3日目

お弁当を持って空港へ。ブエノスアイレスから南極クルーズの出発地・ウシュアイアに向かいます。およそ3時間30分の空の旅で「ウシュアイア」に到着！

ウシュアイアはこんな街



ブエノスアイレスから南へ3,250km。南極からわずか1000kmに位置する南極に最も近い「世界最南端の都市」。マゼラン海峡、ビーグル水道と大西洋に囲まれ海岸線に面したティエラフエゴ国立公園観光などの、海と湖、森の美しい自然が楽しめます。

ウシュアイアの観光後、いざ「ル・ボレアル」に乗船！



19:15…いざ出港!!行きます!!ウシュアイアの港ではガイドさんが横断幕を持って見送ってくれました。

4日目

いよいよドレーク海峡を横断！高波がどんなに激しくてもル・ボレアルには揺れを軽減するスタビライザー装置が付いているので安心です！

ドレーク海峡を越えて



南アメリカ・ホーン岬と南極大陸との間の海峡。南氷洋の一部でもあり世界でも最も荒れる海峡の一つです。ギネスブックで世界一幅広い海峡として認定されています。

夕方からはエクスベディションスタッフのMr.伊知地さんによる「南極について」のお勉強会。「南極大陸の面積は約1387万5000平方kmで日本の約37倍にもなります！」



5日目

午前中にIAATO・南極条約の説明会とゾディアック（ボート）の乗り方の説明がありました！これは全員参加。欠席してしまうと寄港地に上陸できません。そして午後いよいよ遠く第1氷山が見えてきました！

IAATOとは？
 国際南極ツアー・オペレーター協会の事。南極の観光客の数は毎年増加しています。このような観光の増加がもたらす潜在的な環境への影響を認識して、南極大陸での小旅行ツアーを行っている7つの民間ツアー運営者が1991年に協力して、安全で環境に配慮した民間セクターの南極への旅行を提唱し、促進しています。

夕食の前にキャプテン（船長）によるウェルカム・パーティー！舞台上では船長さんと添乗員との漫才!?が繰り広げられました！本日の夕食はデッキ2のレストラン「ラ・リコン」でフランス料理のコース！フォアグラや羊羊肉など絶品メニューが続きました！



6日目

いよいよ南極に到着！まずはネコハーバーに上陸です！



上陸の地、ネコハーバー！



南極のエレラ海峡を11km南に下ったアンドヴァー湾の東端にあります。この湾で操業していた捕鯨母船「ネコ号」にちなんで名付けられました。ここではジェンツーペンギンの営巣地が見どころ！



南極の大地に、記念すべき第一歩を記しました！ここから本格的な南極の旅が始まります！

美しいぞ！パラダイス湾



地球上で最も美しいと呼ばれる「パラダイス湾」。その昔、捕鯨船の船員がこの湾を見て「ここは天国だ！」と叫んだことからこの名が付けられました。



上陸はせず、湾をクルージング。するとなんと幸運なことにサトウ・クジラが！潮を吹いたり、時には頭を出したり、これには大感動！

7日目

ここからルメール海峡に入ります。風光明媚な絶景に心うばわれます。

雄大なルメール海峡へ！



幅の平均が1.6km（最狭部は800m）という細長い海峡で、南極半島西岸で世界一美しい難所といわれています。

ポートシャルコーをクルージング



波も穏やか、天気にも恵まれ、ゾディアックボートで南極の海をクルージングです！

ここは氷山のミュージアム!?と言わんばかり沢山の氷山が様々な形で浮かんで見えます。アザラシも氷の上で幸せそうに眠っています！



海の上には様々な形の氷山が。大自然の造形美に感動の連続です！午後はピーターマン島に上陸です。

8日目

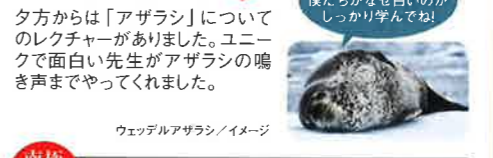
クーパービル島で動物ウォッチ！



南極半島とロンゲ島の間のエレラ海峡に浮かぶ小さな島。標高250mのドーム型の山が特徴です。



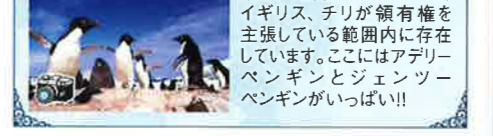
ここには沢山のジェンツーペンギンが！ウェッデルアザラシも気持ちよさそうに寝ています！海岸にはクジラの骨…！山の上がっていくと岩場には緑の苔…南極にも緑があるんですね！



9日目

今日は、ジョインビル島ケネスコープへ！海には氷がブカブカと浮かび、空は晴天青空！なんとも言えない絶景！

ジョインビル島にもペンギンが！

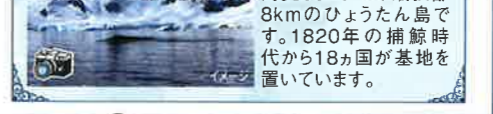


ジョインビル諸島の中では最大の島。アルゼンチン、イギリス、チリが領有権を主張している範囲内に存在しています。ここにはアデリーペンギンとジェンツーペンギンがいっぱい！！

水河がずっとと広がり遠くには卓上氷山が見えます。お部屋からの景色もお見逃しなく！

10日目

グリニッジ島・フォースポイントとは？



南極半島の北方、サウスシェットランド諸島の島。長さ20km、最狭部8kmのひょうたん島です。1820年の捕鯨時代から18カ国が基地を置いています。

この島にいますのは、ヒゲペンギン・ミナソウアザラシ・ナンキョクオットセイです！！

午後はデセプション島・テレフォンベイへ！

テレフォンベイで火山に遭遇！



1909年に修理の為に停泊していた救難船「テレフォン号」にちなんで名付けられました。島の内側は天然の良港で湾の入り口はとて狭く、火山の影響で地熱が高く温泉が湧き出しています。1970年に噴火し観測基地が被害を受け島はほぼ円形。南極付近では珍しく地表がむき出しています。

海岸近くには、とても珍しい白いウェッデルアザラシが！ここで南極上陸は終わり。なんだか寂しいですね…。

11日目

今日は、ドレーク海峡を横断。船内ではイベントが！「アホドリ」のレクチャーやドキュメンタリー映画の上映も！楽しい思い出が忘れられない記憶として心に焼き付けられるでしょう。

12日目

夕方にはドレーク海峡からウシュアイアに戻ってきました。ル・ボレアルでの最後の夕食もお楽しみください！



ウシュアイアに戻ると南極には無い緑が見えてきます。どこか懐かしさを感じ、地球に戻ってきたような気持ちになります。同じホシにいたはずなのに…

13日目

10日間ずっと住みだだったル・ボレアルとお別れ…。ウシュアイアの観光をしてブエノスアイレスへ。ホテルへ到着後、最後のパーティー！オプションツアーでタンゴショーを見に行かれた方も！！

14日目

午前：ブエノスアイレス観光
 午後：ブエノスアイレス発空路、帰国の途へ。

15・16日目

東京（羽田又は成田空港）へ到着！南極ツアーは大感動の連続でした！



ようこそ、「ロストラル」へ *Bienvenue à bord de L'AUSTRAL!*
息をのむ南極の絶景へ、名船のご案内します



最新技術を備えた
エレガントな客船

流線型の船体と、絶景を望む大きな窓。上質な素材を使ったインテリアは控えめながらもエレガント。天然の素材を配したデザインは、コンテンポラリーでありながら落ち着いた雰囲気。また船には、南極の自然環境に配慮し海水を汚染しない下水処理設備や、揺れの少ない安定走行を可能にするシステムが設置されています。フランス船らしい細やかなサービスと快適性で、優雅な南極の旅をお楽しみください。



専門家が同行するからオモシロイ!日本人エクスペディションリーダー乗船!

南極の景色は一見すると同じ景色にしか見えなくてもいいかもしれません。しかし、専門家の説明を受けてみると氷山ひとつをとって見ても、全く異なるものだとわかります。南極クルーズの際には常に同行してもらい、お客様からも大変好評な伊知地氏が、日本語同時通訳、または本人が日本語で解説することでより知識も深まり、南極旅行が何倍にも楽しくなってくれることでしょう。

日本人エクスペディションリーダー
伊知地 亮氏が日本語で解説します!!

当コースが最良の南極旅行であることを2つご説明します。1つはチャーターであること。お客様が全員日本からとなりますので、船内での全てのご案内を日本語で行います。初めて訪れる南極、沢山の知りたいことが生まれるでしょう。その知的探究心を1つの言語で存分に提供できます。小さなグループ旅行ですと通訳もない場合があります。もう1つは南極に来る最新鋭の船であること。ほとんどのお部屋にバルコニーがあり、美しいインテリアの船内で快適にお過ごしいただけます。南極はまだ未知の魅力が無数にあります。この機会にぜひ私達と一緒に南極の旅へ出かけましょう。



伊知地 亮氏 (いじちりょう)
2002年に初めて南極を訪れ、その類まれな美しさに魅了される。以来機会があれば南極へ毎年訪れ、2009年に初めて北極へも訪れる。2010年より本格的にエクスペディションスタッフとして乗務を開始し、これまでに南極・北極併せて50本以上のクルーズに参船。2019年1月に日本人初のエクスペディションリーダーとなる。2018年より、ボナン社の日本駐在マネージャーに就任。



南極クルーズでは毎日船内にて、その日の復習と翌日の寄港地や動物の予習をする勉強会が開かれます。これによって、毎日が探求心と冒険心に溢れ、目的をもって南極クルーズに参加できます。しかし、通常はこの勉強会も英語で聞かざるを得ません。今回のクルーズでは、日本人エクスペディションリーダーの伊知地亮氏による日本語での勉強会が開かれますので、安心してご参加ください!

ポナン社 L'AUSTRAL ロストラル

ポナン社が提唱した「極地へ冒険旅行に行けるラグジュアリー船」という新しいコンセプトによって生まれたロストラル。
最高級の品質にこだわった船内は、柔らかな色調でコーディネートされ、控えめでありながら洗練され居心地に優れた空間を生み出しています。
極地旅へのクルーズをプライベートな空間で、快適にお楽しみいただきたいというポナン社の願いが細部にまで息づいています。

SHIP DATA [シップデータ]

- 就航: 2011年
- 総トン数: 10,700トン
- 全長: 142m
- 最大幅: 18m
- 乗客定員: 264名
- 乗組員数: 140名
- 巡航速度: 16ノット
- 船籍: フランス

PUBLIC SPACE [パブリックスペース]

- メインラウンジ
- オプザーベーションラウンジ
- レストラン (2カ所)
- ティールーム / バー
- シアター
- ダンスフロア
- ライブラリー
- プール
- フィットネスジム
- ヘアサロン
- スパ / リラクゼーションルーム
- ショップ
- Wi-Fiアクセス
- メディカルセンター

ポナンクルーズはここがすごい!

専門のパン職人が、パンを焼くためだけに乗船している
ポナンの船にはパンを焼くためだけに乗船している専門のパン職人がおります。毎朝焼き立ての美味しいパンを食べて、観光へ出発しましょう!



アメニティはエルメス
フランス船の誇りとして、アメニティはすべてエルメスを利用しております。素敵な香りで南極での活動の疲れを癒してくれることでしょう。



アルコールを含む飲み物は飲み放題!
(一部ヴィンテージものは除く)



南極の海水を利用したプールで泳げる

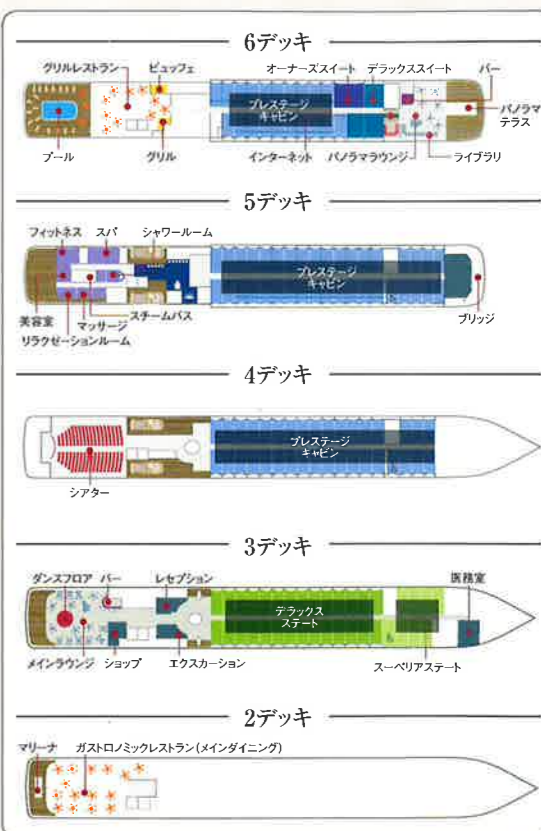
船内にはなんと南極の海水を温めた温水プールがあります。南極の海で泳ぐというなんとも浪漫あふれる体験ができるのです!



お部屋の冷蔵庫、バー、ラウンジ、レストランでのお飲み物は無料でお飲み頂けます。食事中のみ無料、という船会社はよくありますが、ポナンは違います。バー、ラウンジ、レストランはオープンしている限り無料です。お部屋の冷蔵庫だってすべて無料なのです。

Wi-Fiが無料
南極という隔離された地域でもWi-Fiが無料でご利用可能です(電波がつかないこともあります)。また、容量の大きいデータや動画の閲覧などはかなり遅く、できない場合もございます。

近代的な船で、地球誕生以来変わらない、近代的という言葉とは反対の南極をめぐるという、対極の旅行が実現できるのです。



洗練されたインテリア



お客様を迎え入れるレセプションでは、吹き抜けの天井から吊された輝くスワロフスキのオブジェがお出迎えます。ラグジュアリーな雰囲気を漂わすロストラルの居心地を楽しみながら、極地への旅が始まります。



天候の良い日には視界の開けたオプザーベーションデッキで、穏いながら南極の絶景を満喫して頂けることでしょう。氷山を眺めながらのティータイムは格別です。運が良ければ海洋生物の姿も目にすることもあります。

美食を誇るロストラルでフランス料理のフルコースを!



フランス客船ならではの本場フランスをお楽しみ頂けます。多彩なコース料理とワインが含まれている贅沢なサービスを受けられるのもポナン社ならではの、レストラン、バー、お部屋の冷蔵庫のお飲み物はアルコールを含め無料です。(一部プレミアムアルコールは有料となります)



メインダイニングでは世界一流店クラスの食器・グラス・カトラリーが華麗に美食を演出します。船内にはもうひとつビュッフェレストランもあり、クルーズを通じて食の楽しさを存分に堪能ください。

キャビンは全室がオーシャンビュー
~お好みに合わせて選べるキャビンをご用意~

キャビンは全室バルコニーまたは窓付で、お部屋にしながら大迫力の氷山や、ペンギンやクジラたちの遊泳する姿を間近に見ることが出来ます。どの部屋もスタイリッシュなインテリアデザインでまとめられており、全ての部屋でWi-Fiが利用できるのも嬉しいサービス。通常あまりない独立トイレは、機能的で過ごしやす設備。また、スイート客室はバラー付となっております快適なクルーズライフをお約束いたします。

※バルコニー付の場合、客室面積はバルコニーを含みます。
全客室標準設備: シャワー / 洗面 / 独立トイレ / エアコンディショナー / ミニバー / フラットスクリーンTV / iPodプレーヤー / オンデマンドビデオ / 金庫 / ヘヤドライヤー / バスロープ / 電話 / 110・220ボルト電源 / インターネットアクセスWi-Fi / 24時間ルームサービス / エルメスのアメニティ

オーナーズ・スイート(デッキ6)



54㎡
バルコニー、バスタブ、シャワー付

デラックス・スイート(デッキ6)



32㎡
バルコニー、バスタブ付

プレステージ(デッキ4・5・6)



22㎡
バルコニー、シャワー又はバスタブ付

デラックス・ステート(デッキ3)



22㎡
バルコニー、シャワー付

スーパーリア・ステート(デッキ3)



21㎡
窓あり、シャワー付

